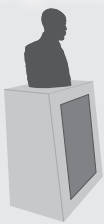


「折田先生像の観察者」に

突撃インタビュー！



受験期になると現れる折田先生像。その折田先生像の歴史をまとめているサイトがあることをご存知でしょうか。サイトの名前は「折田先生を讃える会」、京大の関係者が運営しています。何故サイト開設に至ったのか、運営をされている放射性同位元素総合センターの角山雄一助教にお話を伺いました！（東）

——どうして折田先生像の情報を集めようと思ったのですか？

僕が京大に進学した当時は、まだ本物の折田先生像があって、年に2、3回はいたずらされていました。その後、本物の銅像は撤去されたんですが、僕が筑波でポスドクをしていたときに、ハリボテの折田先生像が作られるという話を聞いたんですね。

それで京大に就職した1997年にナウシカを模したハリボテの折田先生像が現れたのを目撃して、「これは何か変なことが起こっているな」と思ったんですね。一時的ないたずらじゃなくこれからも継続していくだろうと。その様子を記録していこうと思ってサイトを開設しました。当初の目的は、京大のOBに向けていたずらがまだ続いていることを伝えることでしたね。

——情報収集の一環で、像の製作現場を見に行くんですか？

しないしない、特に見たいとも思わない。僕はあくまでウォッチャーとしての立場で見守るだけです。完成した像の情報を図鑑のようにサイトに集約することに徹しています。

——では折田先生本人にはどのような思いを抱いていますか？

京大の「自由の学風」の土台を作ったのは折田先生です。でも、このことが僕も含めて京大関係者に認知されたのは、像のいたずらに対して大学当局が注意喚起の看板を立てたときでした。

その後、折田先生像についてのサイトを管理していると、先生について書かれた本があると教えてもらいました。その本を古書で入手して読んでみたら、折田先生がいかにして学生と接して、「自由の学風」の土台を作ったのかが書いてあって。京大生ならこのことは知っておいた方がいいんじゃないかと思いましたね。それで先生本人についてのサイトも開設しました。折田先生像のサイトが運営できなくなっても先生本人のサイトはなんとか残したいですね。それくらいの情熱を持っています。

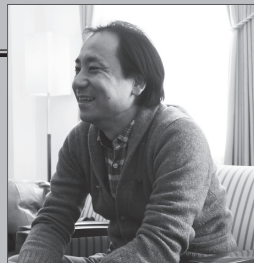
——京大生に向けてひとことお願いします！

僕はたびたび京大生がうらやましいと思います。すぐ近くに面白い先生や学生がたくさんいて、いろいろな視点を持った人たちと議論する環境が整っているのは、学問するためには最適です。勉強に疲れたら折田先生像を見てリラックスして（笑）、旧制第三高校の精神を思い出しのびのびと学問に励んでくれればいいですね。

——ありがとうございました

PROFILE

1992年に東北大理学部より京大人間・環境学研究科へ進学。その後、ポスドクを経て1997年に京大に就職。同年、ハリボテでできた折田先生像を目撃したのを機にHP（下記）を開設。

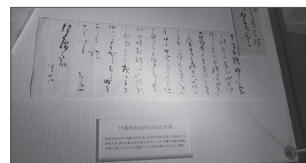


参考HP

「折田先生を讃える会」（いたずらの記録）
<https://sites.google.com/site/freedomorita/>
 「前略 折田彦市先生」（折田先生本人の歴史）
<https://sites.google.com/site/presidentorita/>



▲2013年の折田先生像



▲折田先生の直筆書簡

折田先生像

卒業生の寄付により今の吉田南1号館前付近に銅像が作られた。その後、度重なるいたずらによって1996年に撤去される。その翌年から有志によってハリボテの像が立てられるようになり、現在に至る。



折田先生はどんな人？

第三高校の初代校長。当時としては珍しく、学生を「さん」付けで呼んだり、寮生と一緒に風呂に入ったりと、学生との交流を大事にしていた。

